

保険のプロが  
こっそり教える  
いらない  
医療保険損するがん保険もめない解約

その夜、仲間と交わしたグラスに胸熱く

撮る復活完全の奇跡から 脳腫瘍 安田章大 関ジャニ∞ 独点

結婚へのシナリオ

小室圭さん

NY 弁護士合格率 89%

駆け落ち婚 賭けた運命の7月

3月7日号

定価 400円

堀ちえみ

口内炎 自覚症状から6か月

一人の子供に見 末期舌がんの壮絶

突然の解任 孤高の英断

大坂なおみ 平凡なコーチとの耐え難い関係

ムロツヨシ 仰天の自宅マンション撮



ドラマ「中学聖日記」で大ブレーク 岡田健史 接近撮

つげまつげで オバ記者が恋に変わった この愛の形に心が熱くなる おばさんのラブは 男と男に揺さぶられ

寝ながらエクサで 冬太り解消! から揚げを極める

女性の気になる健康と病気大特集

医師が実践「いつもの」量は? ビタミンC最強の摂り方5  
大腸がん 胃がん 肺がん 乳がん ほか  
口臭、おなら、咳... がんのはじまり 初期症状  
「ちつトリセツ」頭痛・腰痛・冷え症・便秘が改善 膣の取扱説明書  
突然死の7割が 血管年齢だけ気にしなさい 恐怖のゴースト血管を 防げ! 無敵の毛細血管力のつくり方  
野口五郎 食道がん手術「秀樹」と早めた検診検査



# のプロがこっそり教える あなたも入っている(涙) 損するがん保険

誰に強制されたわけでもないのに、8割以上の世帯が加入する医療保険。「お涙ちょうだい」のCMに誘われるがん保険。でも、保険のプロいわく「それって本当に必要ですか?」。冷静に見極めれば、毎月の保険料は節約できるかも!

「医療保険は年を取ってからだと入りにくくなり、保険料も高くなります。家族のためにも、入るなら若いうちからですよ」——保険のセールスマンからそんな営業を受けた人は多いはず。都内在住の主婦・萩野さん(仮名・46才)は、30代前半で契約した。

「健康診断はいつもA判定で、夫婦ともに健康には自信がありました。夫が35才の時、夫ががんになりました。同時に、夫ががんになった時にも備えて、がんと初めて診断されたら『診断給付金』が100万円出るという、当時一番人気のがん保険にも入りました。夫は両親ともにがんを患った。がん家系」なので心配だったんです。

払い続けて15年。毎月の保険料は夫婦2人で1・5万円と家計には大きな負担です。まだ給付金を受け取るような病気はしていませんが、やめるきっかけもないんです。

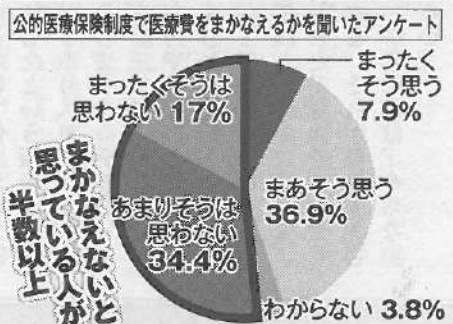
医療保険とは、病気やけがによる入院や手術時に給付金(保険金)を受け取れるもの。

がん保険は、がんと診断されたり、がんが入院した際、給付金を受け取れる。

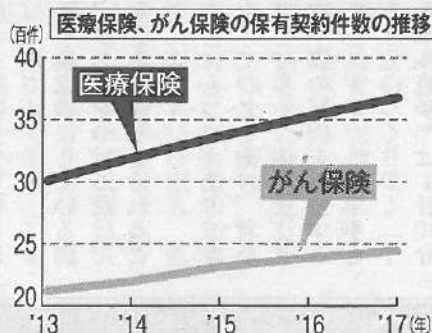
萩野さんのようにいくつもの医療保険に入り、万が一の疾病リスクに備えようとする人は多い。医療保険の契約件数は今や3677万件にのぼり、生命保険文化センターによると、医療保険に加入する世帯は8割を超え、がん保険やがん特約の加入率も6割を超える。もしもの時に、公的医療保険制度だけでは「まかなえない」と考える人も半数以上と多く、医療保険・がん保険に加入する人は年々増えるばかりだ(グラフ1、2参照)。

だが、今一度立ち止まって考えてほしい。萩野さんのケースでは、毎月1・5万円を15年間、すでに総額270万円もの保険料を支払っている。現在50才の夫が80才まで生き

グラフ1 医療費は健康保険でまかなえないと考える人は多い



グラフ2 医療保険の契約件数は伸びている



## 1 貯金が「100万円」あれば 医療保険は必要ない

た場合、総額は810万円にものぼる計算だ。それほどの高額な買い物だと最初からわかっていたら、安易にいくつも保険に加入しただろうか。

(出所)公益財団法人 生命保険文化センターのデータをもとに本誌作成

医療保険への加入者はなぜこんなに増えているのか。保

険に詳しいファイナンシャルプランナーの長尾義弘さんが

# 大反響！総力見直し術 保険

## やめておけばいいのに、

# いらぬ医療保険

- 「がんほか病気の治療費」実はこんなに安い！一覧
- 「保険金がもらえない」で泣き寝入り
- 「持病があっても入れます」の甘い罠
- “もめない”解約手続きの方法教えます

解説する。「保険は、かつては死亡保険（生命保険）が主流で、病気やけがへの保障は、死亡保障を補う、特約に過ぎなかった。しかし、寿命が年々延びているので、「生きている間のリスク」に備えた方がいいという需要が掘り起こされ、「死亡保障」よりも「生存保障」を求めるニーズが高まったのです」

単身者の増加や少子高齢化で死亡保険が売れなくなったことで、保険会社は販売戦略を転換。医療保険を主力商品として大々的に宣伝するようになった。そうして加入者のニーズを追求した結果、「入院日数分の給付金+手術給付金」が支払われる、今では定型ともいえる医療保険が主流になった。

ところが、そうした医療保険は、実は欧米ではあまり見られない、日本独特の商品でもある。「保険のプロ」が生命保険に入らないもつともな理由「など」、保険に関する多数の著書がある後田亨さんが話す。

「テレビCMなどの影響でしようか、民間の保険に入っていないといざという時に何の保障もないと認識している人がいます。しかし、それは大きな誤解です。そもそも日本人は、

表3 高額療養費制度の自己負担額

| 年収               | 医療費総額                              |                   |
|------------------|------------------------------------|-------------------|
|                  | 自己負担3割                             | 健康保険からの給付7割       |
| 770万~1160万円      | 自己負担の月額上限額<br>16万7400~<br>17万1820円 | 4か月目以降<br>9万3000円 |
| 370万~770万円       | 8万100~8万7430円                      | 4万4400円           |
| 370万円以下          | 5万7600円                            | 4万4400円           |
| 低所得者(住民税非課税世帯など) | 3万5400円                            | 2万4600円           |

※直近12か月間に3回以上高額療養費の支給を受けているケース

世界的にも医療費の国民負担が軽く、手厚い社会保障に守られていることを知ってほしい。原則、全国民が加入する健康保険は、医療費の自己負担は3割（75才以上の後期高齢者は1割）で済み、「高額療養費制度（表3）」という優れた制度もあります。その保障内容を知れば、民間の保険は必須とは考えにくいはず」

高額療養費制度とは、一定額以上の医療費がかかった場合、限度額を超えた分の費用が払い戻されるというもの。その制度のおかげで、たとえば医療費が月に100万円かかったとしても、平均的な収入の世帯（月収28万、50万円）であれば、最終的な自己負担額は月8万7430円で済む。「どんなに高額でも月の上限が決められているため、わざわざ高いお金を払って医療保



**表5 主要がんほか 治療費は意外に安い**

| 病名   | ステージ | 3割自己負担額(円) | 高額療養費適用後(円) |     |
|------|------|------------|-------------|-----|
| 胃がん  | I    | 48万        | 22万         |     |
|      | II   | 86万        | 57万         |     |
|      | III  | 86万        | 57万         |     |
|      | IV   | 79万        | 75万         |     |
| 大腸がん | 結腸がん | I          | 43万         | 20万 |
|      |      | II         | 72万         | 48万 |
|      |      | III        | 106万        | 56万 |
|      |      | IV         | 225万        | 65万 |
| 直腸がん | I    | 44万        | 20万         |     |
|      | II   | 82万        | 50万         |     |
|      | III  | 82万        | 50万         |     |
|      | IV   | 225万       | 65万         |     |
| 肺がん  | I    | 58万        | 23万         |     |
|      | II   | 124万       | 48万         |     |
|      | III  | 126万       | 50万         |     |
|      | IV   | 195万       | 53万         |     |
| 乳がん  | I    | 31万        | 21万         |     |
|      | II   | 102万       | 87万         |     |
|      | III  | 112万       | 96万         |     |
|      | IV   | 118万       | 70万         |     |
| 心筋梗塞 |      | 63万        | 11万         |     |
| 脳梗塞  |      | 70万        | 10万         |     |

(出所)がんの治療費については、「がん治療費.com」のデータ取材をもとに、心筋梗塞の治療費は医師への取材をもとに、脳梗塞の治療費は、くどうちあき脳神経外科クリニック院長の工藤千秋医師への取材をもとに本誌作成。  
 (注)高額療養費制度適用後の自己負担額は、年収370万~770万円、70才未満の患者を想定して計算。がんは、ステージⅢまでは5年間の治療費を算出し、ステージⅣは1年間の治療費を算出。

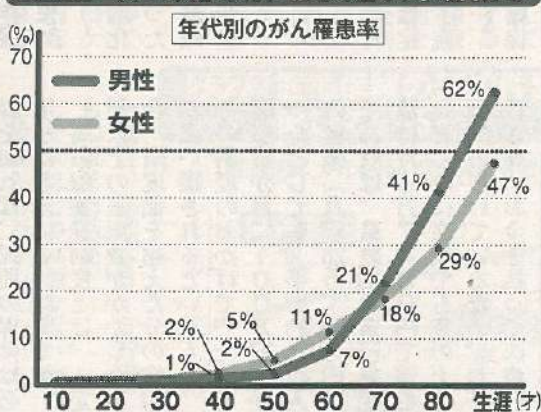
**グラフ4 がん入院しても20日前後で退院できる**



「最近では長期入院が少なくなり、入院をしても高額な負担になることが少ない。そのため、高額療養費制度を活用すれば、差額ベッド代を含めた自己負担額はせいぜい10万~20万円ほどです。」  
 実際、私自身が2週間入院した時も、医療費総額114万円に対し、最終的な自己負担額は14万円で済みました。

「2人に1人ががんになる」のは80才から  
 人気保険の代表格、がん保険。「日本人の2人に1人ががんになる」といったCMをよく見聞きするが、これは保険会社の上手な宣伝戦略。年別のがんの罹患率を見ると、少し違和感を持つ。  
 グラフ6のように、年を重ねることにがんになる確率は高まっていくが、女性の場合、50才までにはがんと診断される確率はわずか5%。60才まででも11%で、80才以降になっても29%にとどまる。

**グラフ6 2人に1人ががんに罹るのは80才以降から**



(出所) 国立がん研究センター「最新がん統計」

**3 いざという時、給付金が支払われない!**

せっかく保険料を支払ってきたのに、いざという時に給付金が支払われないケースも少なくない。福岡県在住の主

婦・田村さん(仮名・55才)はこう憤る。

「昨年、夫の健康診断で異常が見つかりました。すぐに再

険に入る必要はありません。万が一に備えるとしても、貯金が100万円もあれば充分です」(後田さん)  
 表5は疾病別に発症から完治まで(がんの治療のみ)の治療費の自己負担額を算出したもの。たとえば胃がんの

また、そもそも最近では入院日数が短期化している。がんの平均入院日数は年々減少し、今や20日前後で退院できることがほとんどだ(グラフ4参照)。長尾さんが自身の体験を話す。

「がん治療はお金がかかるからがん保険で備えておこう」という常識は、鵜呑みにしない方がいいだろう。

健康保険が適用されないため医療費が高額となる「先進医療」に備えて「先進医療特約」を付ける人も少なくないが、これも注意が必要だ。「18年度の先進医療実施件数ランキングを見ると、がん治療に用いられる「陽子線治療」

や「重粒子線治療」が上位となつていますが、がん患者が年間100万人ほどいるなかで、これらの治療を受ける人は1%にも満たない。実施件数はいずれも年間3000件を上回る程度で、実施医療機関も前者が13施設、後者が5施設とわずかです」(長尾さん)



検査したところ、結果は初期の胃がん。幸い命に別状はなく、2か月前にがん保険に入れたばかりだったので、お金の心配もせずに済むと思っていました。

でも、保険会社に電話すると、「今回は給付金を支払えません」。本来なら、入院1日につき1万円、一時金として100万円支払われるはずだったのに、結局30万円弱を支払うことになりました。

田村さんのように、加入後すぐに病気が発覚した場合は要注意だ。後田さんが話す。「がん保険は、契約から90日以内は『免責期間』とされ、その間にかんと診断されても給付金は支払われません。

そのほか、基本的に保険は「治療目的のもの」に限って給付金が下りるため、検査入院の場合も給付金は支払われません。それは医療保険でも同じです。

落胆するのも無理はありませんが、病気を隠して加入する人がいたりすることも

ため、必要な措置ともいえるでしょう。

手術の方法によって支払われないケースもある。

「医療技術は日進月歩で進みます。そのため、昔に加入した古い医療保険の場合、カバーされない治療もあります。たとえば、心筋梗塞の治療などに用いられるカテーテル手術は、30年前には存在していなかったため、手術給付金が支払われないケースもあります。

逆に、レーシック手術は少し前の保険では手術給付金が出たのに、最近の保険では支払われなくなっています。契約書類や約款に定められているので、加入時に確認するのが賢明です」（長尾さん）

ほかにも、加入前からの持病が悪化して入院した場合の給付金は下りない。たとえば、もともと患っていた腰痛が悪化して入院したケースだ。最近、「持病があっても入れる」保険もよく見かけるが、その分保険料は割高のため、注意が必要だ。

## 4 加入者は損！ 保険会社ばかり儲かる「からくり」

多くの保険会社が、有名タレントを起用して大々的にCMを打っている。なぜあんなにも宣伝費をかけられるのか。後田さんが話す。

「そもそも、給付金として受

け取るお金は、保険料から保険会社の人件費や宣伝費などを引いた残りのお金です。その経費の割合は保険商品によって異なりますが、商品設計の専門家によると、売れ筋の

医療保険では30%程度といわれています。ATMにたとえるなら、1万円を入金したら3000円も手数料が引かれるような仕組みなのです」

医療保険の場合、入院や手術時に支払われる給付金額が少ないため、保険より貯金で対応する方が賢明だろう。

しかし、たとえば子供が生まれたばかりで、もし今、夫が病気で働けなくなり収入が途絶えたら、そのお金をまかなえる貯金がない場合は、家族が路頭に迷うことになる。そういう時にこそ、医療保険の出番である。保険とは、「もしもの時、わが家に必要なお金を備える」もの。終身の医療保険にだらだらと入り続けるのではなく、その時に必要な金額をしっかりと把握し

入るなら「共済」  
「団体保険」を検討すべし

これまで医療保険の問題点を挙げてきたが、それでも保険に入りたいた時はどうすればよいか。後田さんは、「都道府県民共済」や「団体保険」から優先的に検討すべき」と言う。

都道府県民共済とは、特定の地域に住む人を対象にした保障制度のこと。非営利団体による互助制度という建前で、保険料を「掛け金」と呼ぶのが特徴だ。

## 「もめない」解約手続きの方法

解約時はコツがいる。やめたくても、保険会社は簡単には解約させてくれないから。長尾さんが話す。

「まず、普段つきあいがあったとしても、営業マンを介して解約しないこと。生命保険会社は顧客の担当を細かく決めており、解約の連絡をする担当者からすぐに顧客に連絡する仕組みになっています。そして、あの手この手で解約を阻止したり、新商品に加入させようとします。『GNP営業』といって、義理（G）・人情（N）・プレゼン（P）でアプローチを仕掛けてくるのです」

強い意思を持って臨む気持ちが必要だ。

けてくるのです」

具体的には、頻りに訪問し、親身に相談に乗ることで安心・信頼を築き、誕生日にはプレゼントを贈るなどだ。断るのが苦手の日本人は、これにつかまると逃げられない。「いちばんよいのは、コールセンターに電話して、『一言解約書類を送ってください』と言うだけ。この時、『相談したい』など言うてはいけません。書類が届いたら、速やかに書類を返送し解約しましょう」

## 5 入るなら「共済」 「団体保険」を検討すべし

保険に加入すれば、保険料もグツと抑えられるはずだ。

団体保険とは、特定の企業や労組に所属する人を対象にした保険で「グループ保険」とも呼ばれる。いずれも対面販売で契約を募集しないことや、広告費や人件費が抑えられているため、保険料は総じて安い。

「都道府県民共済の医療保険にあたる『入院保障型』の掛け金は月額2000円。これにプラス1000円でがん特約を付けられます」（後田さん）

ん）

余った掛け金は「割戻金」として加入者に還元され、その割戻率も3割ほどあるため、実質的には2000円強でがん特約まで備えられる。「割戻金と『共済金（給付金）』を合算した加入者への『還元率』は約80%台前半。民間生保の保険より確実に良心的といえるでしょう。団体保険も、社員数や年齢構成により異なりますが、民間生保の半額程度の保険料で済むところが多く、夫の勤め先などにあれば、ぜひ検討してほしい」（後田さん）

老後を守ってくれる「転ばぬ先の杖」を準備するならば、少しでも安く、安心して暮らせる保険を選びたい。